

第26回「議員と語りかい」報告書

3班 (No.1)

開催日	平成30年 5月 8日 (火) 19時00分 ~ 20時45分		
開催場所	横川総合支所		
団体名	中央地区自治公民館、尾田地区自治公民館 植村今村地区自治公民館、 西地区自治公民館	参加 人員	15人 (男15人:女 人)
出席議員	池田 綱雄、愛甲 信雄、仮屋 国治、平原 志保、阿多 己清、久保 史睦		
役割分担	班 長 (池田 綱雄) 副班長 (愛甲 信雄) 記録係 (久保 史睦)		
テーマ及び具 体的な内容	・地域過疎化への対応策 (自治会、定住促進、子育て、学校等の問題)		

意見 交 換 で の 主 な 意 見 等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	◆新規就農者への支援について、私が就農するとき45歳以上は認められないということであった。高齢化している現在でも変わらないのか。または、拡大されたのか。 ◇国の制度では45歳未満であるが、本市では年齢要件を55歳未満に引き上げて支援を行っていく。
	◆超高速ブロードバンドの整備に向けた状況はどうか。 ◇3月議会で質問をしたところ、条件が整い次第できるところから予算を確保して取り組みたいとのことであった。
	◆議会だよりの一般質問の見出しが命令口調ではないか。 ◇持ち帰って協議をしていきたい。
	◆牧園総合支所の建て替えについて、市長が変わったら話が違って来たということを知ったが、どのように進むのか。 ◇3月議会の一般質問で、見直しを検討するとのことであった。 委員会を確認をしたところ、設計の見直しをするとのこと。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆複式の学校については、統廃合することを考えていないか。

統廃合の理由としては、いずれ子ども達がいなくなり廃校となるまえに、統廃合することで学校を保健福祉施設など地域の皆さんが活用する施設にすること、学校を維持するためには人件費が必要であり、その人件費を地域活性化に活用できること。

◇現在は統廃合の話は出ていない。学校は地域の核となる施設であり地域からの声が必要だと考えている。

◆人口、世帯減で自治会運営が厳しい状況になってくる。自治会の合併がまとまったときには、行政から支援をしてほしい。他市ではいろいろな支援策を講じているので、議会でも機運を高めてほしい。

◇支援策について勉強をしていきたい。

◆空き家でも、廃墟に近く、崩れかかって外観もよくないようなものについて、議会で議論したことはないか。

◇空き家対策については色々な検討がされてきている。解体の補助金もあるが、解体費用が100万円ぐらいかかることや壊したあと更地にすることで税金も高くなるため、なかなか進まない状況である。

◇廃墟的空き家を見ていくと、行政の手に負えるものではない。手順としては、通知→指導通知→勧告→行政代執行となるが、危険性など特段の理由がない限り行政は投資できない。持ち主がいる以上は、行政としては持ち主でやっていただきたいと考えている。所有者不明も増えているので、今後どのようにやっていくのか課題である。

◆少子化に伴い市営住宅の空きが目立つ。家を建てたいという思いがあっても宅地分譲がない。市営住宅の跡地など分譲はできないか検討していただきたい。

◇地域からも声をあげていただき、我々も後押ししたい。

◆各地区の全体における美化作業（年2回）について面積が広すぎるため、地区にとって負担になる。

◆県道や市道の通学路においても歩道に植木等が出ており危険なところがある。一番身近で相談しやすいのは総合支所であるので、県の問題であっても取次ぎをしていただき結果を聞かせてほしい。

◆二石田川が豪雨の度に大変。総合グラウンドの下にある調整池から二石田川に流れるようで、雨になると周辺住民は心配している。喫緊に調整していただきたい。

◆ドクターヘリの発着場所は総合グラウンドであり、イベント等があれば厳しいのではと考える。植村今村地区に広場があるので、活用できないかと考えている。